



日文研

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国際日本文化研究センター

International Research Center for Japanese Studies

2015  
概要





## ■ 日文研とは

---

国際日本文化研究センター（以下、日文研）は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として昭和62（1987年）に設置されました。

日文研は、日本文化の独自性の研究のみならず、諸外国との文化比較や文化交流の視点をも重視し、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する多様な研究を展開しています。

また、世界各地の日本文化の研究者・研究機関に研究情報を発信し、教員を諸外国に派遣して研究会を開催するなど、多面的な国際的研究協力活動を行っています。



## ■ 日文研の役割

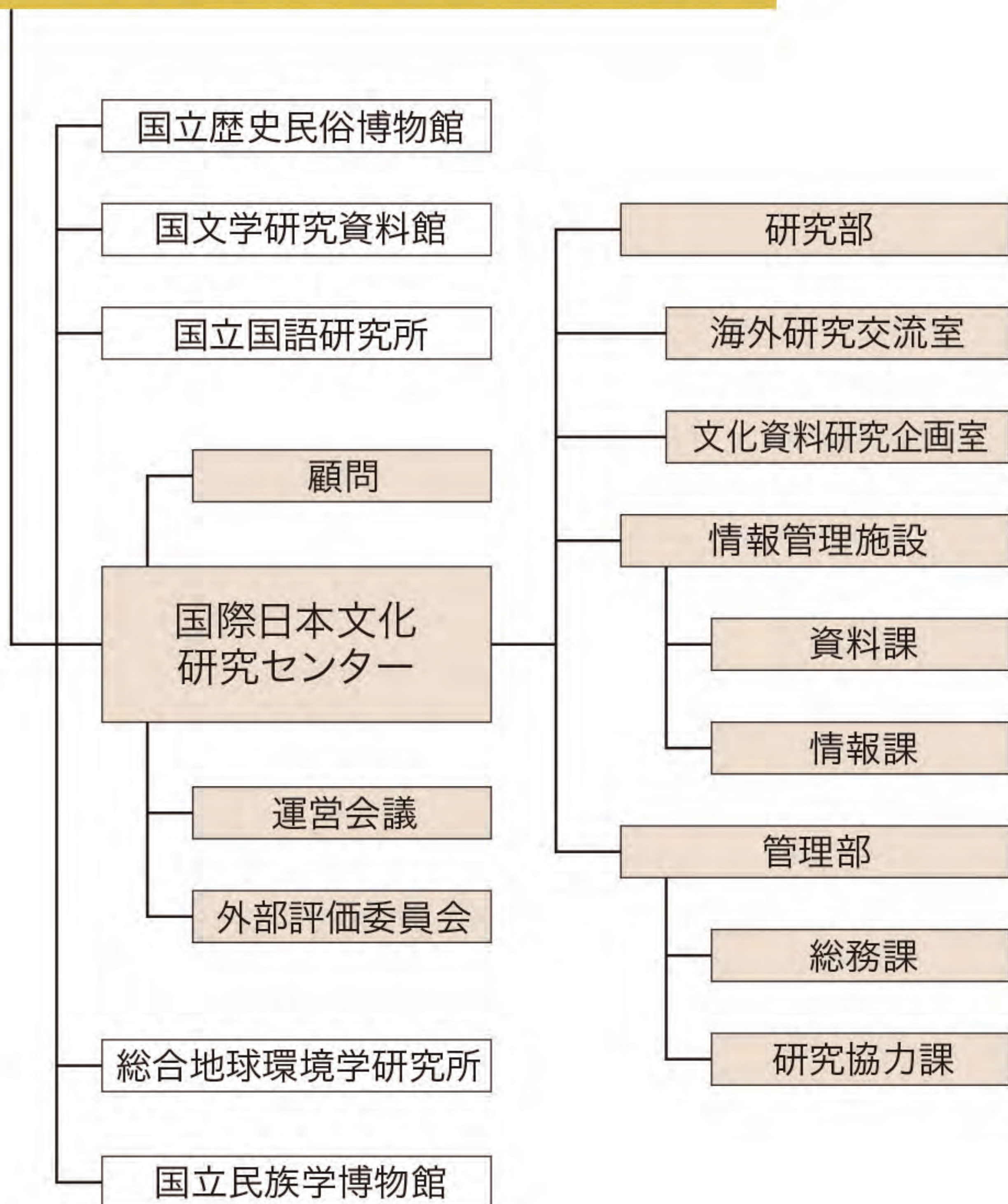
---

1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究は、研究域・研究軸という枠組みのもとに、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 研究成果は、和文・英文による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な形で広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻・博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。



# 組織

## 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構



### 図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し（図書資料約51万冊）、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



# 教員一覧

(2015年5月現在)

## ■所長

小松 和彦

文化人類学、民俗学、口承文芸論

## ■副所長

井上 章一

建築史、意匠論

## ■教授

荒木 浩

日本文学

磯前 順一

宗教研究

伊東 貴之

中国思想史、日中比較文学・思想

稲賀 繁美

比較文学比較文化、文化交流史

牛村 圭

比較文学、比較文化論、文明論

大塚 英志

まんが表現史、まんが創作論、柳田國男論

倉本 一宏

歴史学(日本古代政治史、古記録学)

瀧井 一博

国制史、比較法史

坪井 秀人

日本近代文学・文化史

パトリシア・フィスター

日本美術史

ジョン・ブリン

日本の近世・近代史

細川 周平

音楽学、日系ブラジル史

松田 利彦

日朝・日韓関係史

山田 奨治

情報学、文化交流史

劉 建輝

日中比較文学、比較文化

## ■准教授

榎本 涉

日本中世史

郭 南燕

日本近代文学、東西文化交流

楠 綾子

日本政治外交史、安全保障論

フレデリック・クレインス

日欧交渉史、科学史

佐野 真由子

外交史・文化交流史、文化政策

光田 和伸

日本古典文学、比較文学、比較文化

森 洋久

情報工学

マルクス・リュッターマン

中・近世の日本社会史、文化史、古文書学

## ■助教

北浦 寛之

映画学

## ■特任助教

石上 阿希

近世文化史

宮崎 康子

教育哲学、教育人間学

## ■顧問

梅原 猛



一般公開



# 活動

## 研究活動

- 個人研究
- 基礎研究
- 共同研究

国際的観点から研究テーマを設定し、国際的、学際的な体制のもとに総合的に研究を行うもので、日文研の中心的な活動が共同研究です。この活動の中で共同研究の成果を世界に向けて発表する機会として「国際研究集会」があり、またこの集会は世界各地の日本文化研究者の交流の場としても位置づけられています。

## 研究協力活動

- 国際研究協力

海外において日本文化研究機関の共催等により「海外シンポジウム」「日本研究会」などの国際的研究協力活動を実施しています。

「日文研フォーラム」「セミナー」など、研究会形式の発表と交流の場を提供し、その他さまざまな研究支援を実施しています。

- 情報の収集・整理・提供

収集する主な情報には次のようなものがあります。

- ・ 外国語で書かれた日本研究図書
- ・ 日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
- ・ 海外における日本研究者・研究機関に関する情報

これらの情報はデータベース化され、多目的な検索システムにより、迅速にアクセスすることができます。

## 普及活動

- 研究活動の成果報告

『日本研究』、*Japan Review*、『日文研叢書』、*Nichibunken Monographs*、『国際研究集会報告書』等の出版及びインターネット発信

- 広報誌の出版

『日文研』、*NICHIBUNKEN NEWSLETTER*

- 一般市民への発信

学術講演会、公開講演会、日文研フォーラム、一般公開、日文研・アイハウス連携フォーラム等



# 共同研究

## 2015年度 共同研究一覧

(2015年5月現在)

研究課題	研究代表者
戦後日本文化再考	教授 坪井 秀人
人文諸学の科学史的研究	教授 井上 章一
戦争と鎮魂	教授 牛村 圭
画像資料（絵葉書・地図・旅行案内・写真等）による 帝国域内文化の再検討	教授 劉 建輝
説話文学と歴史史料の間に	教授 倉本 一宏
おたく文化と戦時下・戦後	教授 大塚 英志
日本の舞台芸術における身体 ——死と生、人形と人工体	外国人研究員 ボナヴェントウラ・ ルペルティ
日本の軍事戦略と東アジア社会 ——日中戦争期を中心として——	外国人研究員 黄 自進
21世紀10年代日本文化の軌道修正：過去の検証と 将来への提言	教授 稲賀 繁美
万国博覧会と人間の歴史——アジアを中心に	准教授 佐野 真由子
植民地帝国日本における知と権力	教授 松田 利彦
明治日本の比較文明史的考察——その遺産の再考——	教授 瀧井 一博
マンガ・アニメで日本研究	教授 山田 奨治
新大陸の日系移民の歴史と文化	教授 細川 周平



最近の日文研出版物

所蔵資料「七福神：明治十六年略暦」



# 2014年度 活動の記録

2015年度の活動についてはお問い合わせ下さい。

\*は一般の方の参加が可能なものです。

## 活動一覧

2014年 4月	日文研フォーラム*	森有礼が見た19世紀半ばのロシア帝国 ——虚像と実像——
5月	日文研フォーラム*	中日の知をつないだ上海内山書店
6月	人間文化研究機構 公開講演会*	世界の中の日本研究——京都から語る——
	日文研フォーラム*	祇園祭について、あらためて考えよう
	学術講演会*	日本映画の黄金期と斜陽期 ——テレビ産業との攻防の中で 文化の法律はどう作られるべきか? ——著作権法を例に考える
7月	日文研フォーラム*	昭和前期の政治と宗教
9月	日文研フォーラム*	後藤新平研究——中国の視点から
	日文研・アイハウス 連携フォーラム*	妖怪と日本人の想像力
	学術講演会*	徳川将軍の外交儀礼 1857-1867 和歌をうたう ——モダニズムとジャポニズムをむすぶ和歌歌曲——
10月	日文研フォーラム*	日本が自ら日本を世界に紹介した最初の本にみる日本の美意識について
	シンポジウム	交錯する外交と貿易 ——明清交替期前後の東アジア三国関係
	一般公開*	
11月	海外シンポジウム	新領域・次世代の日本研究
	公開講演会*	映画史のなかの太秦
	日文研フォーラム*	日本古典文学における隠喩の考察 ——主に歌ことば、翻訳、隠喩の展開について
12月	シンポジウム	言葉の境界をこえる 詩とその翻訳をめぐる
	日文研・アイハウス 連携フォーラム*	越境する『大衆文学』の力 ——なぜ中国で松本清張が流行するのか
	日文研フォーラム*	大英博物館「春画展」報告
2015年 1月	シンポジウム	怪異・妖怪文化研究の現在
	日文研フォーラム*	グローバル時代における日本大衆文化とその変容 ——大河ドラマ分析を通じて
2月	シンポジウム	日本古代の地域と交流
	日文研フォーラム*	仏教と平和主義——日本仏教の挑戦
	日文研・アイハウス 連携フォーラム*	江戸時代にみるユーモア、パロディ、タブー ——浮世絵と春画の社会的意義
	伝統文化芸術総合研究 プロジェクト公演会*	能楽と西洋オペラとの統合の試み ——楽劇『保元物語』をめぐる——
	国際研究集会	比較思想から見た日本仏教
3月	国際研究集会	夢と表象——その国際的・学際的研究展開の可能性
	公開講演会*	夢を観る／夢を聴く——夢の文化と芸術世界——
	日文研フォーラム*	私の日本映画研究とソフトパワー外交
	シンポジウム	学生・教員参加による日本アニメーション・まんが研究 及び教育法をテーマとする共同研究集会
	シンポジウム	記憶の改変——「私は貝になりたい」と記憶の政治学
	学術講演会(退任 記念講演会)*	笠谷教授・末木教授・早川教授退任記念講演会 ——江戸を語る——



## 交通案内



### 阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

### JR桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約10分

### JR京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」で約45分

バスはいずれも「桂坂中央」行き、「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車で徒歩約5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地  
TEL (075) 335-2222(代) / FAX (075) 335-2091

<http://www.nichibun.ac.jp/>